



# Integration Builder を使った Power Platform とのデータ連携方法

OutSystems は、Integration Builder と呼ばれる SaaS のサービスを利用することで簡単に外部 DB とデータの接続を行うことができます。本書では、OutSystems と、Microsoft Power Platform（以下 Power Platform）のデータを Integration Builder を使用して、OutSystems と Power Platform のデータを外部 DB として連携する方法をご紹介します。

## 目次

Integration Builder とは	3
Integration Builder 利用のメリットと活用シーン	6
OutSystems と Power Platform のデータと連携方法	9
終わりに	27

## Integration Builder とは

Integration Builder とは、Outsystem 社が提供する OutSystems 環境に接続するサービスとしてのソフトウェア (SaaS) のツールです。OutSystems の全エディション、および Platform Server バージョン 11.7.2 (2020 年 1 月) で利用することができます。

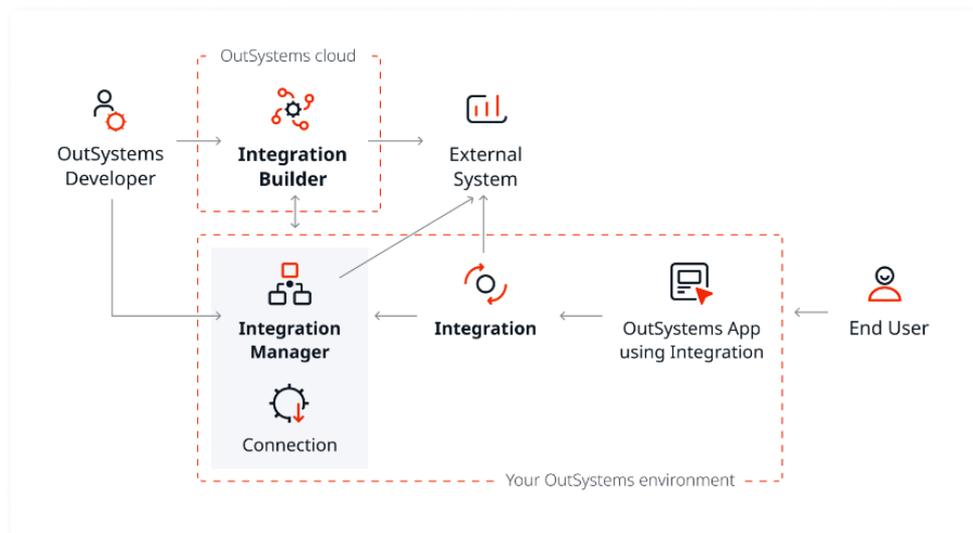


図 1 : Integration Builder とは  
(出典:[OutSystems 社ホームページ](#))

ツールの特徴としては、以下の 4 つがあります。

1. セキュアでスケーラブルな連携により、アプリとデータソースをすばやく接続
2. 複雑さを排除し、より迅速に連携を作成
3. 連携に伴う作業負荷をユーザーに代わって処理
4. 再利用や保守、変更がしやすい設計

## Integration Builder 利用のメリットと活用シーン

Integration Builder を利用するメリットとして、主に以下の 2 つの点があげられます。

1. RDB 以外の DB や外部アプリケーションのデータを外部 DB として取り扱うことが可能
2. 設定時にコードの記述がいらぬ

### 1. RDB 以外の DB や外部アプリケーションのデータを外部 DB として取り扱うことが可能

Integration Studio と Service Center ではサポートされていないデータとの連携が可能のため、例えば、SAP、Salesforce、Microsoft Dataverse、SharePoint Online List、Dynamics365 のデータとの連携が可能です。

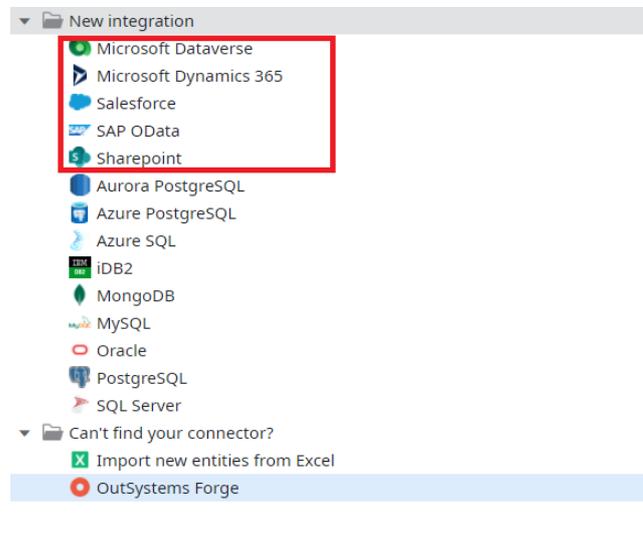


図 2 : OutSystems で取り扱い可能なデータの一覧

### 2. 設定時にコードの記入がいらぬ

コードは記述せずにウィザード形式のみで連携が可能のため、簡単にすばやく設定ができます。

次に活用シーンについては、以下の 2 つがあげられます。

1. 既存の CRM または ERP システムの拡張
2. ローコード製品の Power Platform とのデータの共有

## 1. 既存の CRM または ERP システムの拡張

SAP や Salesforce や Microsoft Dynamics365 などの既存の CRM または ERP システムに対して OutSystems のアプリケーションを加えることで、既存のシステムを拡張する際の複雑さの軽減や俊敏性に対応ができます。

## 2. ローコード製品の Power Platform とのデータの共有

Power Platform で扱われるデータ、SharePoint Online List や Microsoft Dataverse を Integration Builder で連携することにより OutSystems のアプリケーションで活用ができます。  
※Power Platform(Power Apps)で取得できるデータ件数の制限の課題の解決策として活用できる

特に上記 2 で挙げた SharePoint Online List は、Microsoft 365 の契約がある場合、追加費用も発生せずに使用できるため、利用されている方も多いかと思えます。本書では、SharePoint Online List のデータとの接続について説明します。

## OutSystems と Power Platform のデータと連携方法

OutSystems と Power Platform のデータ連携方法は以下の通りです。

- 1 手順 1～15 で OutSystems と Power Platform のデータ連携方法を記述します。
- 2 手順 16～18 で OutSystems のアプリケーションで Power Platform のデータの利用方法を記述します。

## 1. 事前準備

Integration Builder を使用して SharePoint Online List と接続をおこなうには、下記の 3 つの準備が必要です。

- Microsoft Azure Active Directory の管理者ロール権限を持つ Microsoft アカウント<sup>1</sup>
- SharePoint Online List を設定した Site (URL) の情報
- SharePoint Online List の設定情報 (List 名や列名や列の属性情報等)

<sup>1</sup>Integration Builder から Azure Active Directory のテナントへのアクセスやセキュリティロールを作成するため、管理者ロール権限が必要です。

## 2. Integration Builder へのログイン

- 1 <https://integrationbuilder.outsystems.com> へログインします。
- 2 利用環境(Environment)<sup>2</sup>の入力をします。
- 3 「Next」をクリックします。
- 4 次に表示される画面で、入力した環境にアクセスできる IT ユーザーとパスワードの入力をします。
- 5 「Log in」をクリックします。

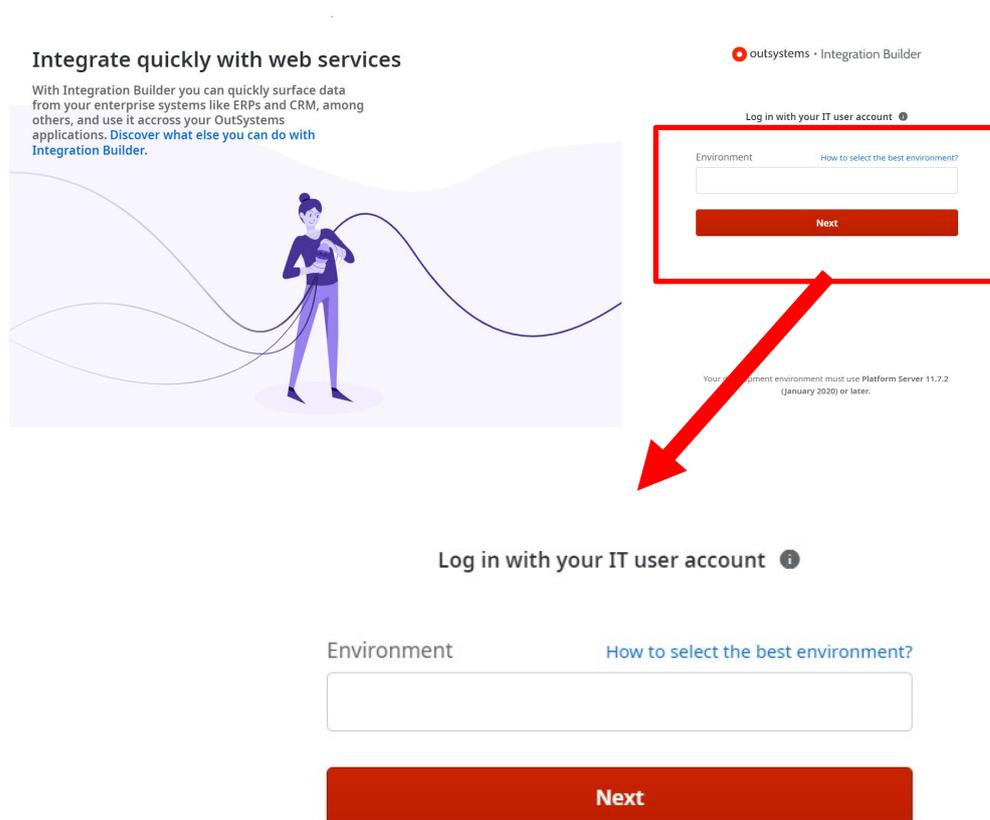


図 3 : Integration Builder ログイン画面

<sup>2</sup> 利用環境には「Personal Environment」も入力可

### 3. 利用する外部 DB の選択

- 1 SharePoint Online をクリックします。

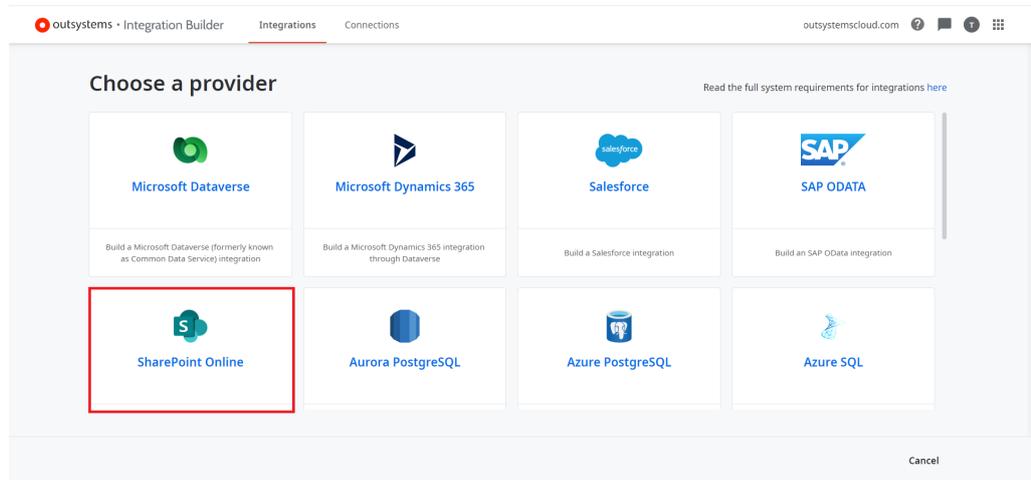


図 4 : Integration Builder 外部 DB 選択画面

### 4. 接続状況の確認

- 1 「SharePoint Online」の接続設定の確認をします。

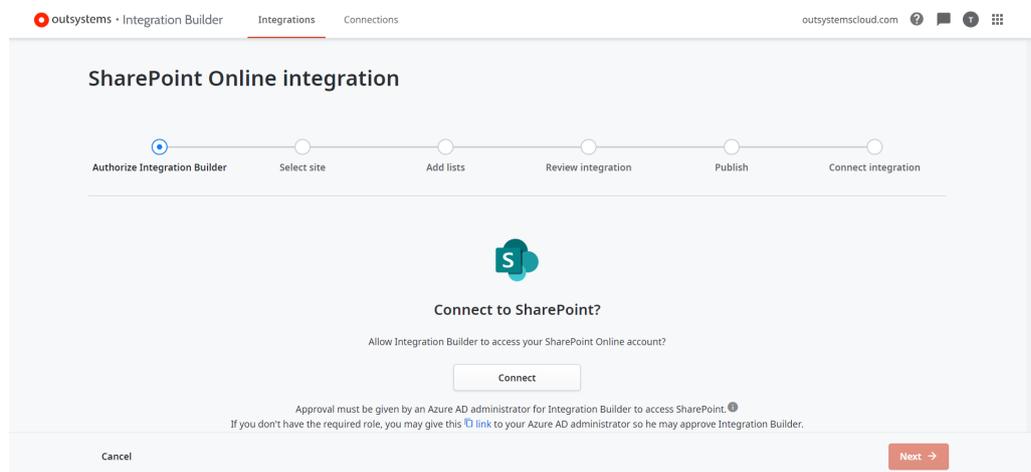


図 5 : Integration Builder 接続設定状況画面

## 5. Microsoft のアカウントでサインイン

1. 事前準備」で用意した、Microsoft アカウント<sup>3</sup>でサインインします。

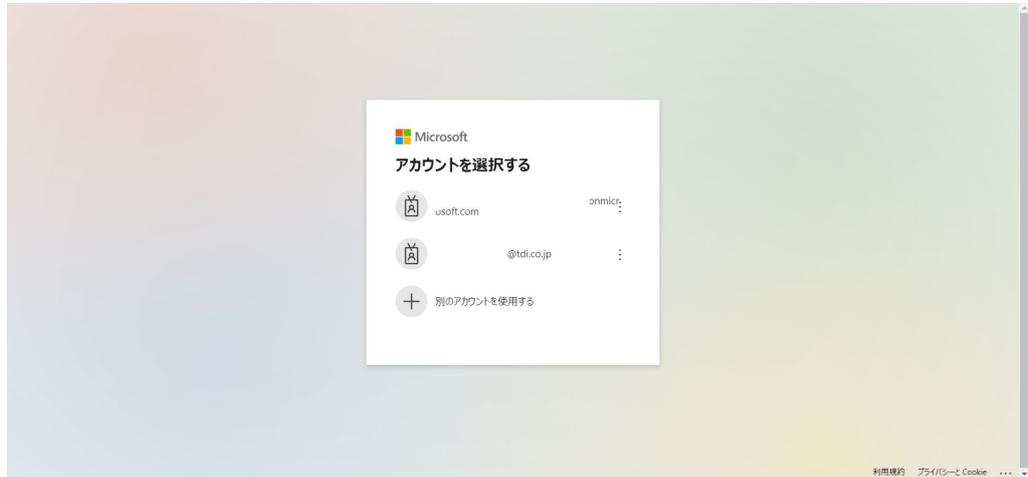


図 6 : Microsoft サインイン画面

<sup>3</sup>Microsoft Azure Active Directory の管理者ロール権限を持つ Microsoft アカウント

## 6. Microsoft のアカウントでの承認

- 1 「同意」にチェックをし、「承認」ボタンをクリックします。

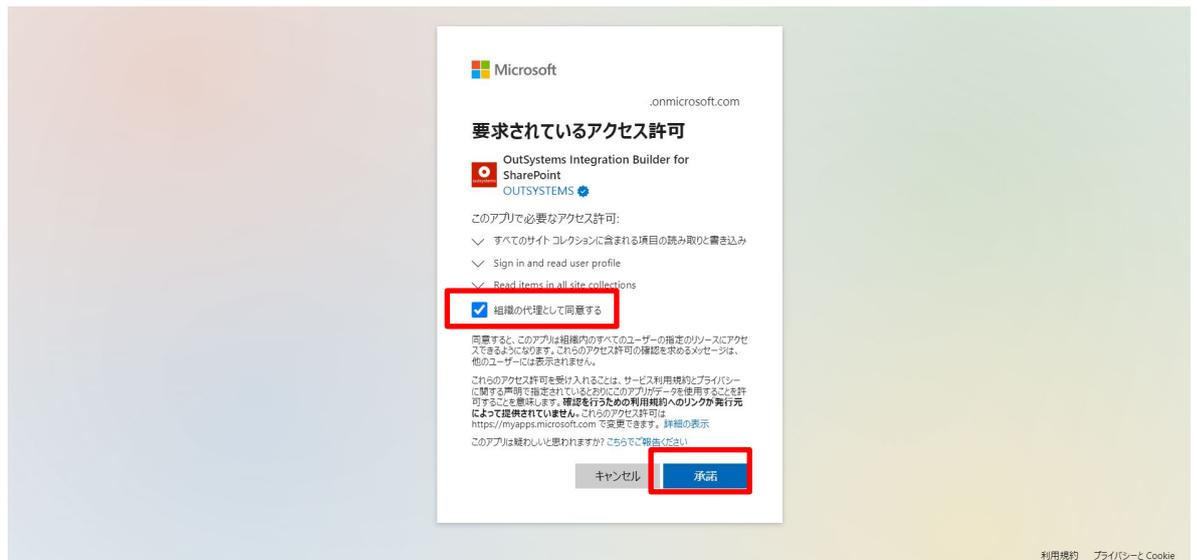


図 7 : Microsoft 承認画面

## 7. SharePoint Online の Site(URL) の選択

- 1 事前準備]で用意した、SharePoint Online の Site の情報にチェックします。

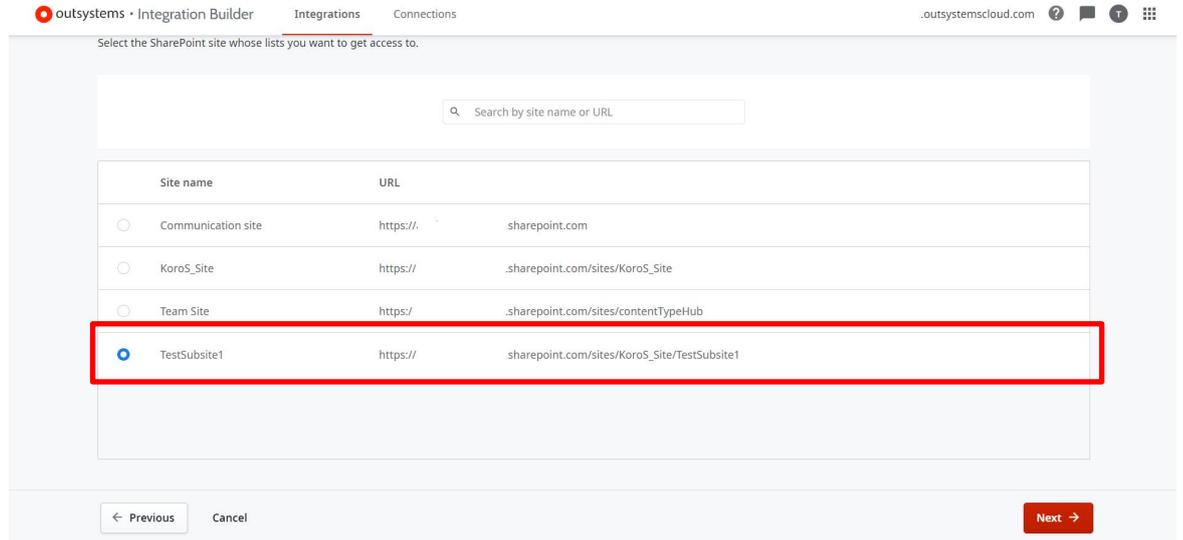


図 8 : Integration Builder サイト選択画面

## 8. SharePoint Online の List 名の設定 1

- 1 図 9 のようにデフォルト画面が表示されます。

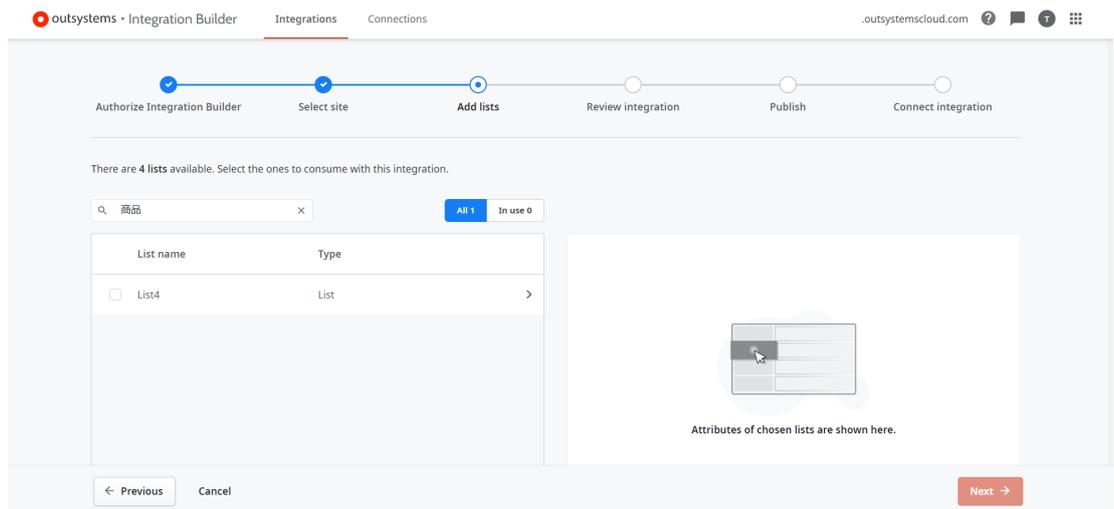


図 9 : Integration Builder List 設定画面(デフォルト)

## 9. SharePoint Online の List 名の設定 2

- 1 デフォルト表示されている「List4」を 1. 事前準備で用意した、SharePoint Online List の設定情報を元に変更していきます。
- 2 List 名の変更はデフォルト表示の「List4」の横のチェックボックスをチェックすると表示される鉛筆アイコンをクリックします。
- 3 図 10 のように List name とオリジナルサイトの名称がポップアップ表示されます。

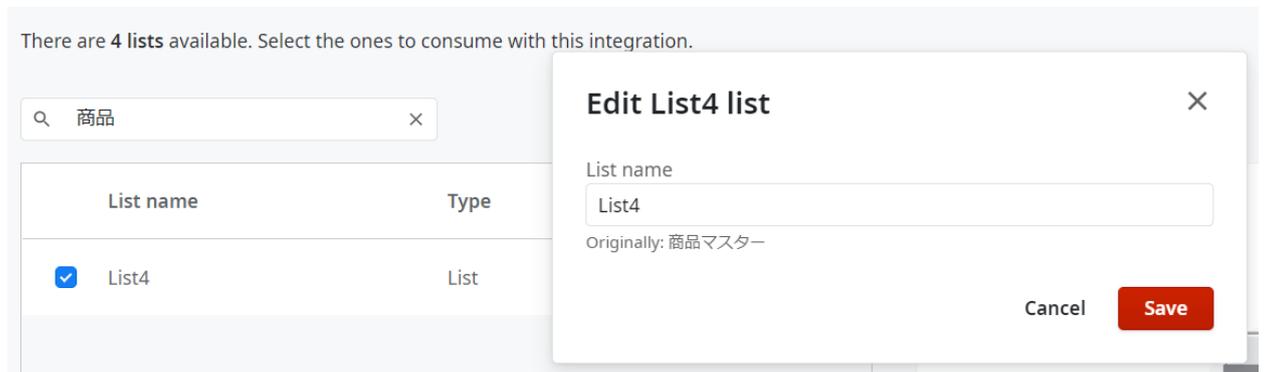
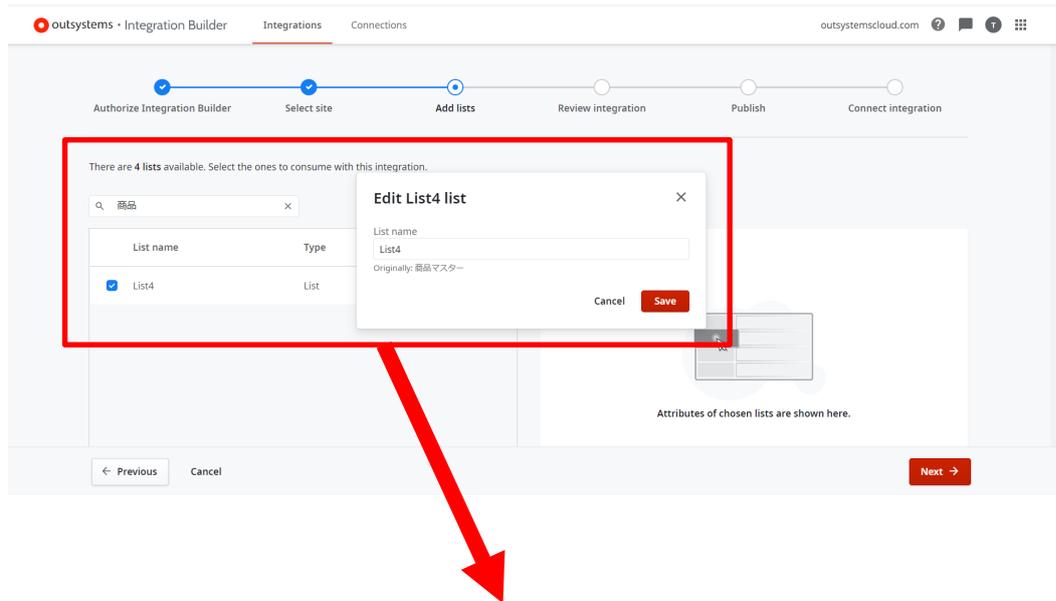


図 10 : Integration Builder List 設定画面(List 名編集モード)

## 10. SharePoint Online の List 名の設定 3

- 1 図 10 のポップアップ表示された画面上の List name を変更します。
- 2 図 10 のポップアップ表示された画面上の List name 欄外にはオリジナル名称の日本語名称（ダブルバイト文字）が表示されていますが、List name 欄には英字（シングルバイト文字）のみ入力可能になりますのでご注意ください。List name 変更後は図 11 のようになります。

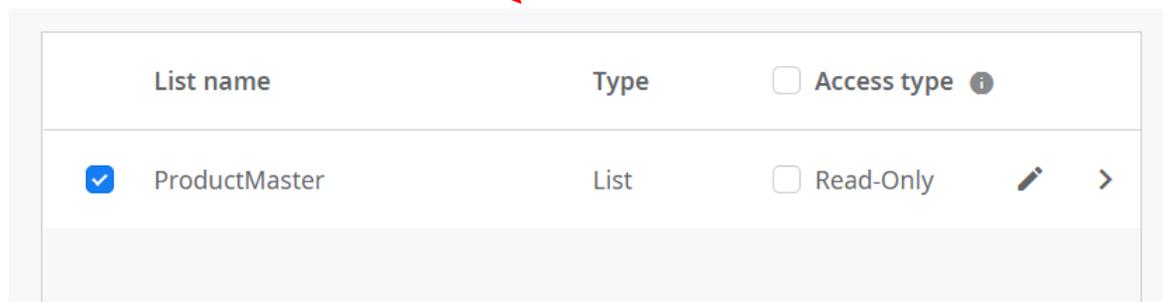
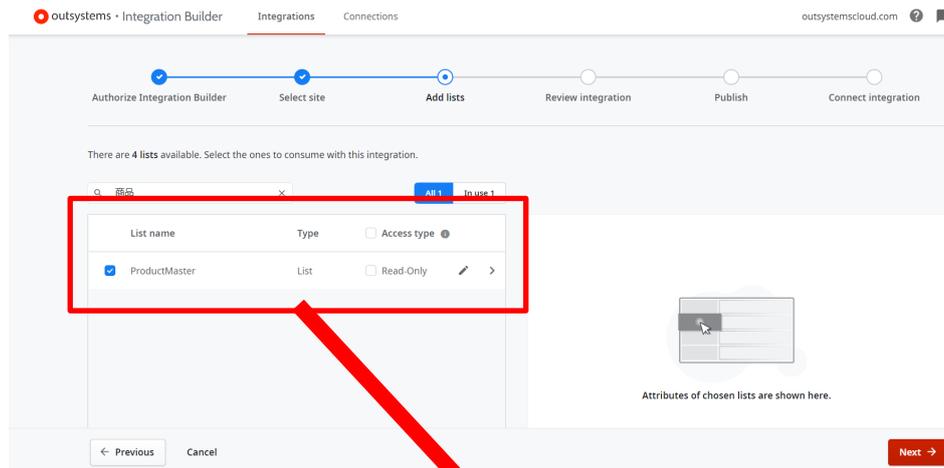
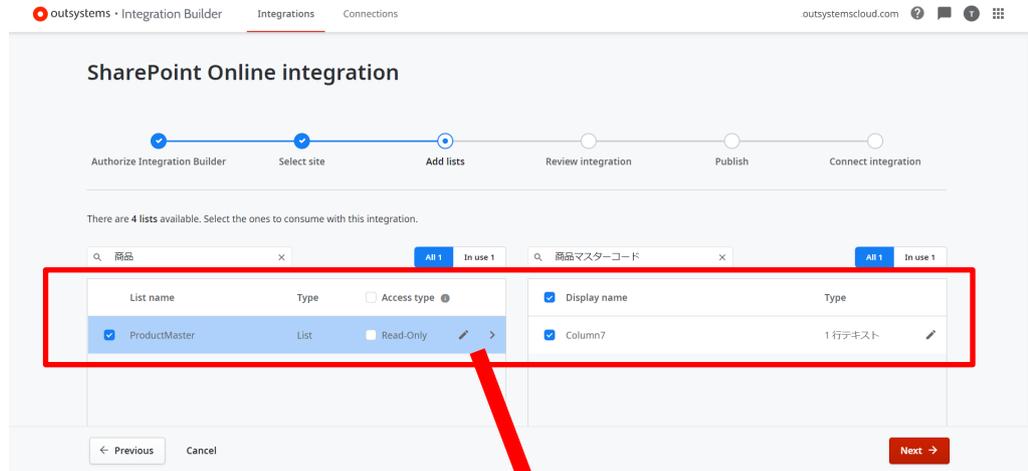


図 11 : Integration Builder List 設定画面(List name 変更後)

## 11. SharePoint Online List の列名の設定 1

- 1 図 12 のように、List 名の右横に列名<sup>4</sup>がデフォルト表示されます。



List name	Type	Access type
<input checked="" type="checkbox"/> ProductMaster	List	<input type="checkbox"/> Read-Only

<input checked="" type="checkbox"/> Display name	Type
<input checked="" type="checkbox"/> Column7	1行テキスト

図 12 : Integration Builder List 設定画面(列名デフォルト表示)

<sup>4</sup>Display name と表記で列名が表示されている

## 12. SharePoint Online List の列名の設定 2

- 1 デフォルト表示されている「Column7」を「1. 事前準備」で用意した、SharePoint Online List の設定情報を元に変更していきます。
- 2 列名の変更はデフォルト表示の「Column7」の横のチェックボックスをチェックすると表示される鉛筆アイコンをクリックします。
- 3 図 13 のように Column name とオリジナルサイトの名称がポップアップ表示されます。その後 Column name 欄を変更します。
- 4 変更時には List name 変更時と同じように欄外にはオリジナル名称の日本語名称（ダブルバイト文字）が表示されていますが、Column name 欄には英字（シングルバイト文字）のみ入力可能となりますのでご注意ください。

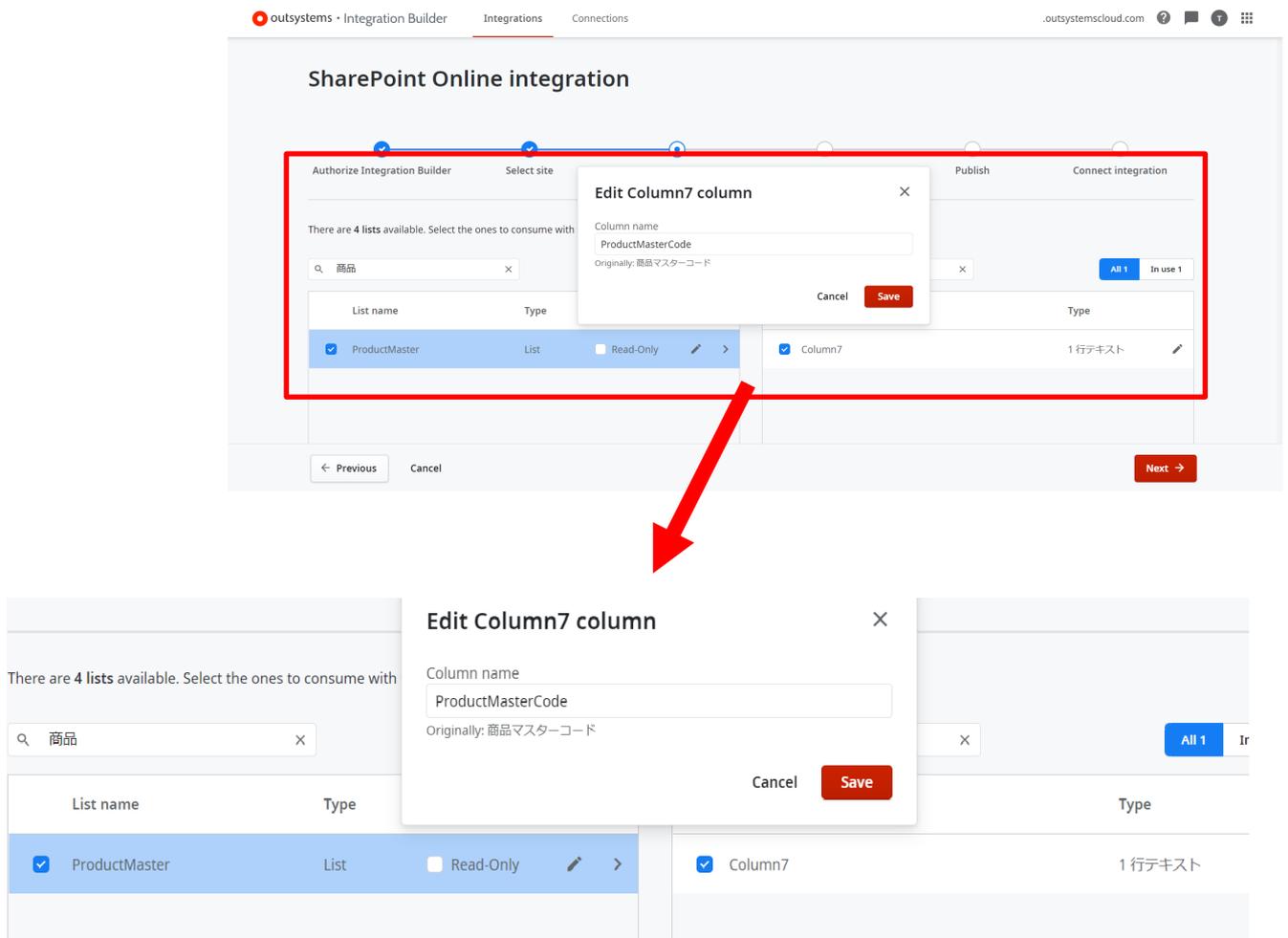


図 13 : Integration Builder List 設定画面(列名編集モード)

### 13. SharePoint Online List の列名の設定 3

- 1 List name と Column name の変更が完了すると図 14 のように表示されます。
- 2 名称変更後は、「Next」ボタンをクリックしていきます。
- 3 同様な画面で「Next」ボタンが表示されるので、数回クリックします。

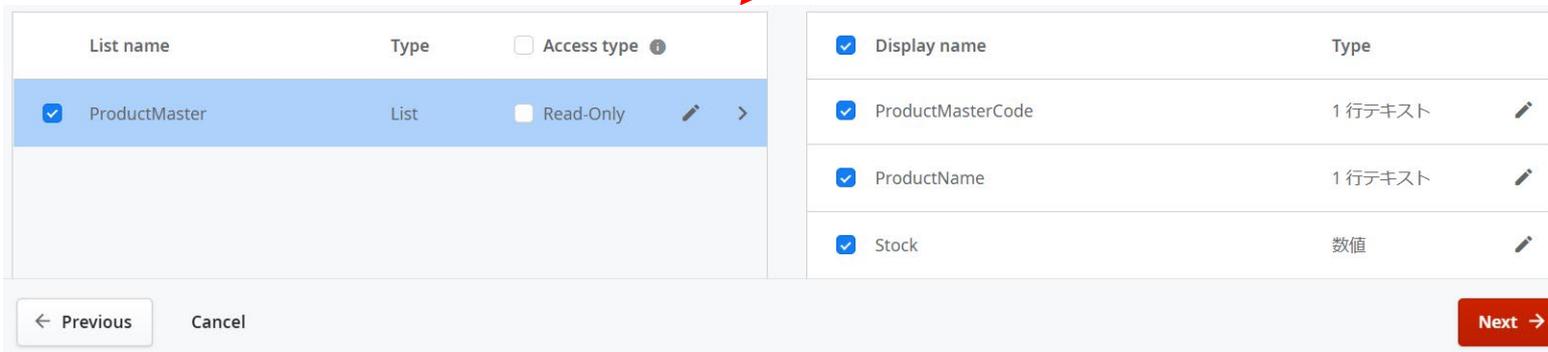
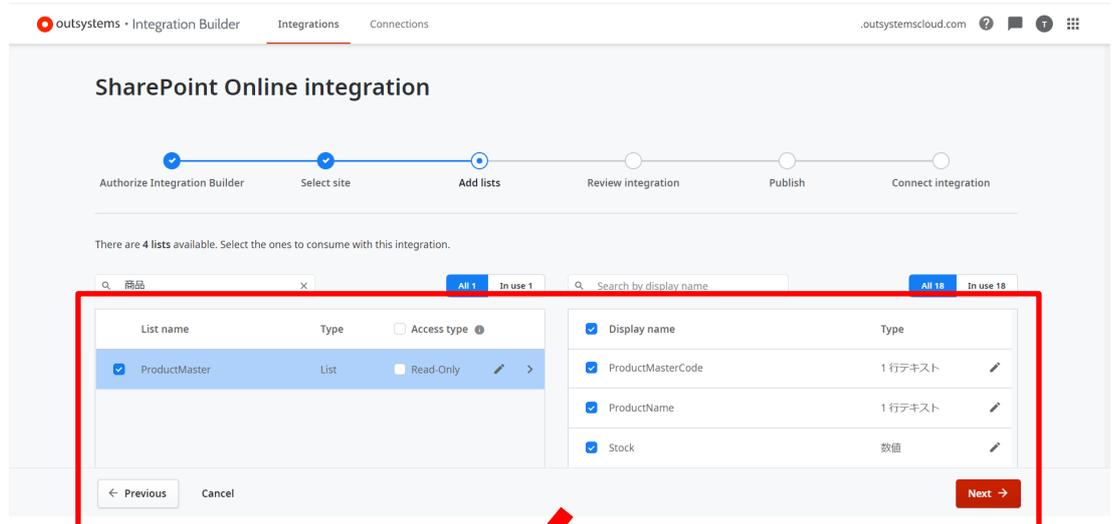


図 14 : Integration Builder List 設定画面(列名・変更後)

## 14. Integration Builder の Publish の実行

- 1 図 15 の画面下の「Publish」をクリックします。

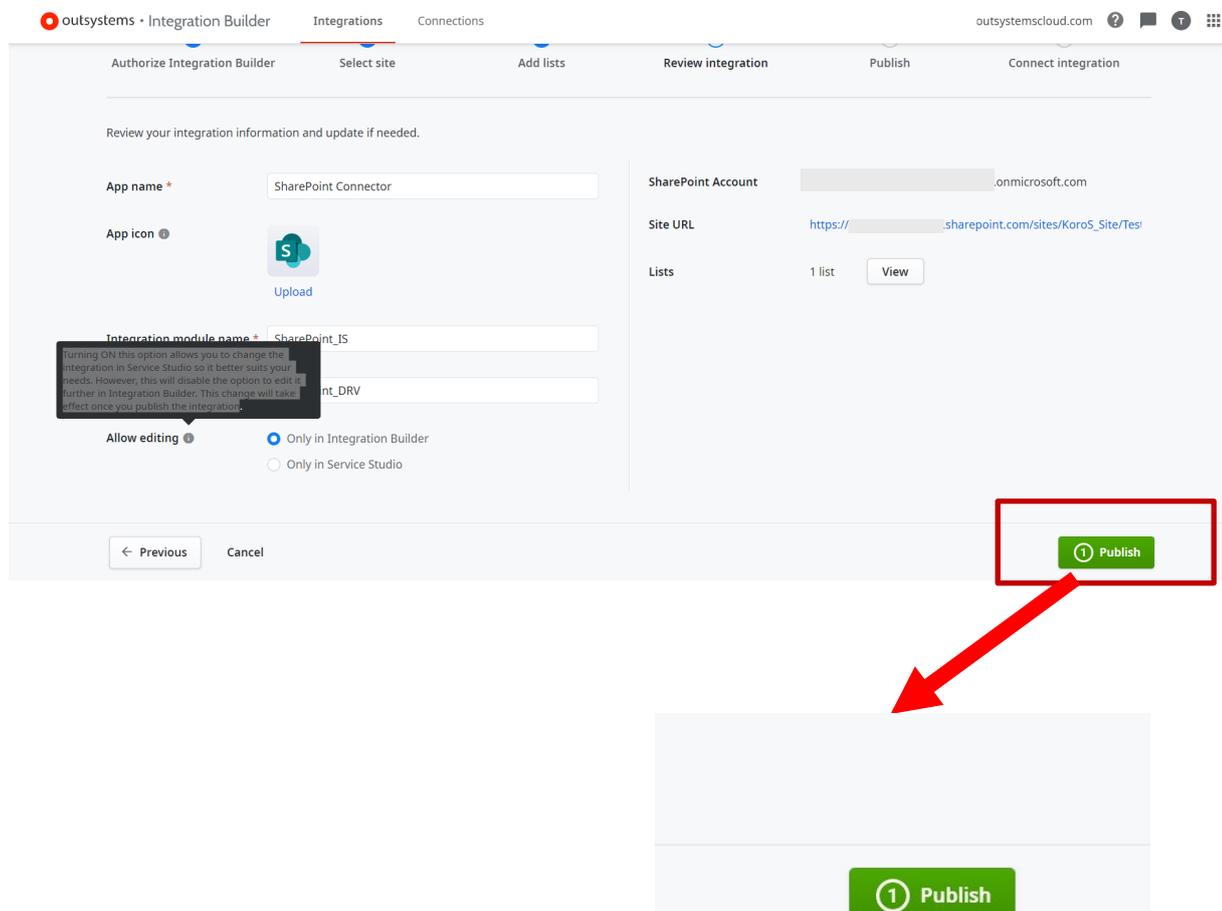


図 15 : Integration Builder Publish 画面

## 15. Integration Builder の設定完了

- 1 Publish 実行後、図 16 に表示されている「Go to Integration Manager」をクリックします。
- 2 同様の画面が続くので「Go to Integration Manager」を数回クリックします。
- 3 図 17 の画面のように「Finish」が表示されたらクリックします。

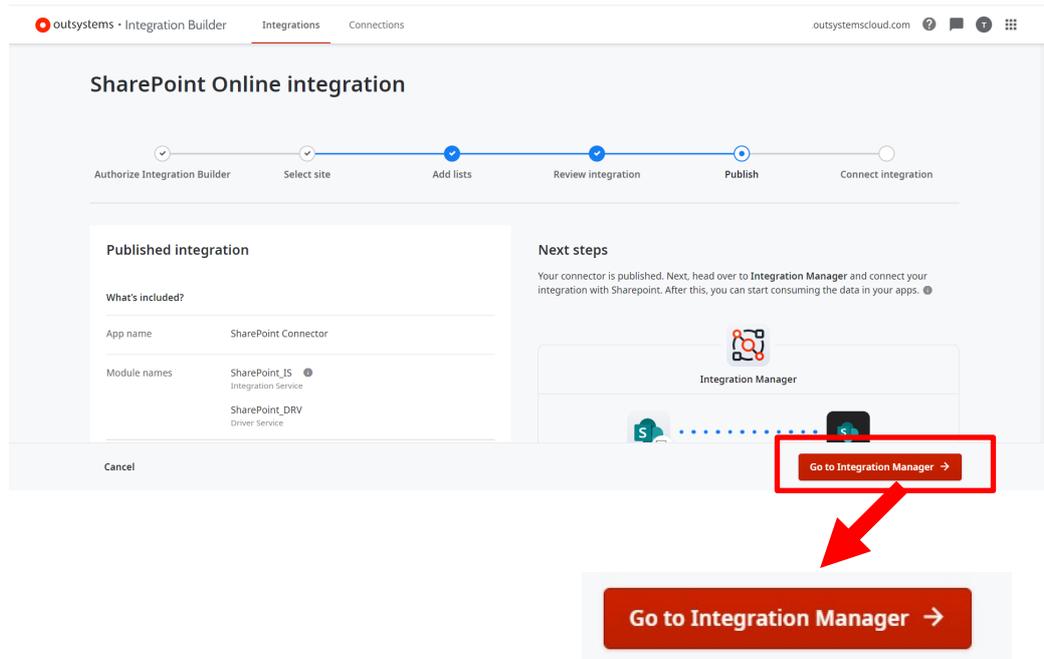


図 16 : Integration Builder Integration Manager 遷移画面

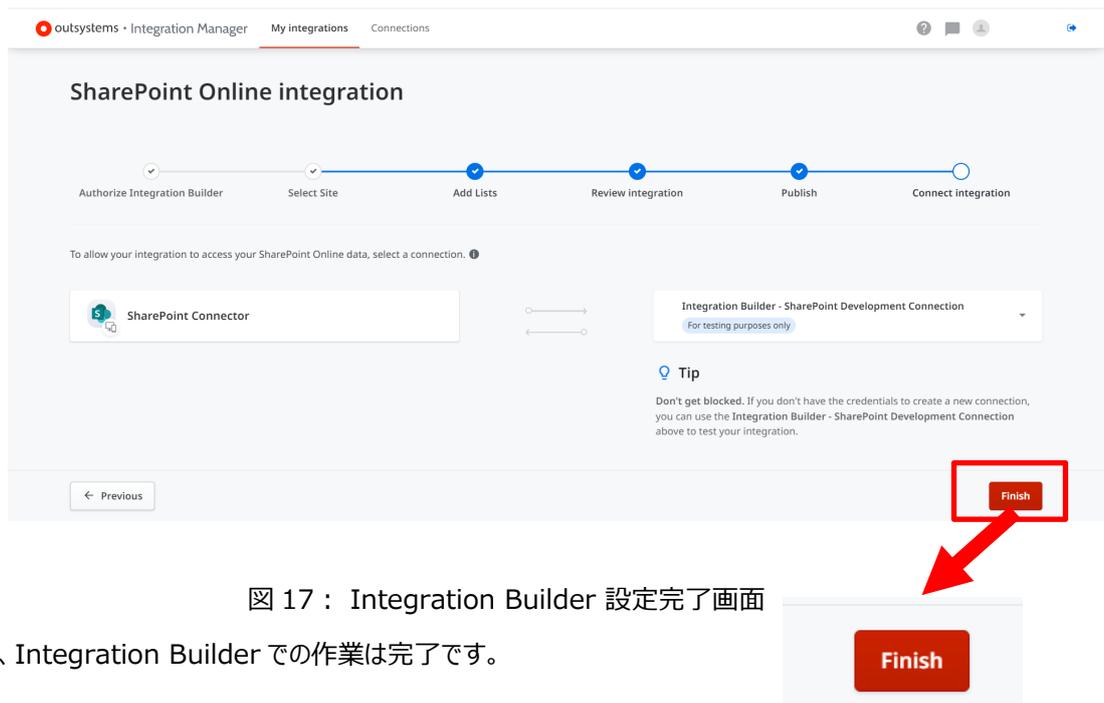


図 17 : Integration Builder 設定完了画面

以上で、Integration Builder での作業は完了です。

## 16. Service Studio の確認

- 1 Integration Builder アクセス時に入力した環境の Service Studio を起動します。
- 2 起動後画面（図 22）に下記のアプリが追加されていることを確認します。
  - SharePoint Connector
  - SharePoint Integration Units
  - Secret Manager Local Service
  - Integration Builder Utils
  - Integration Manager
  - Integration Manager SharePoint Plugin

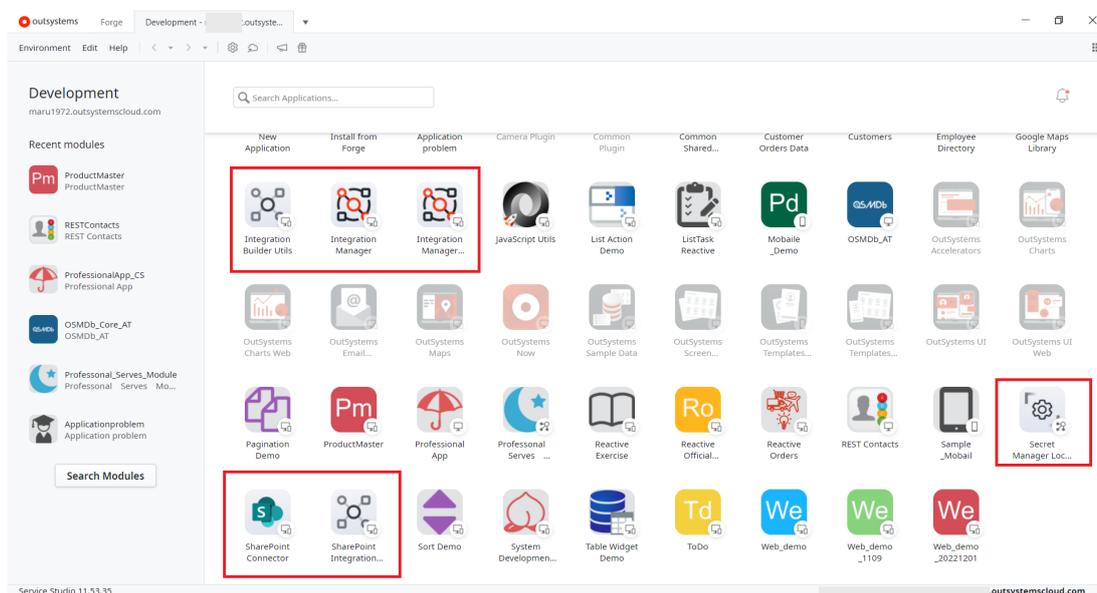


図 18 : Service Studio Top 画面

## 17. Manage Dependencies 連携でアプリとの連携

- 1 SharePoint Online List を使用するアプリの Manage Dependencies で SharePoint Online List と連携します。
- 2 連携するサービスモジュールは Module Names「SharePoint\_IS」を選択します。
- 3 「Apply」をクリックします。

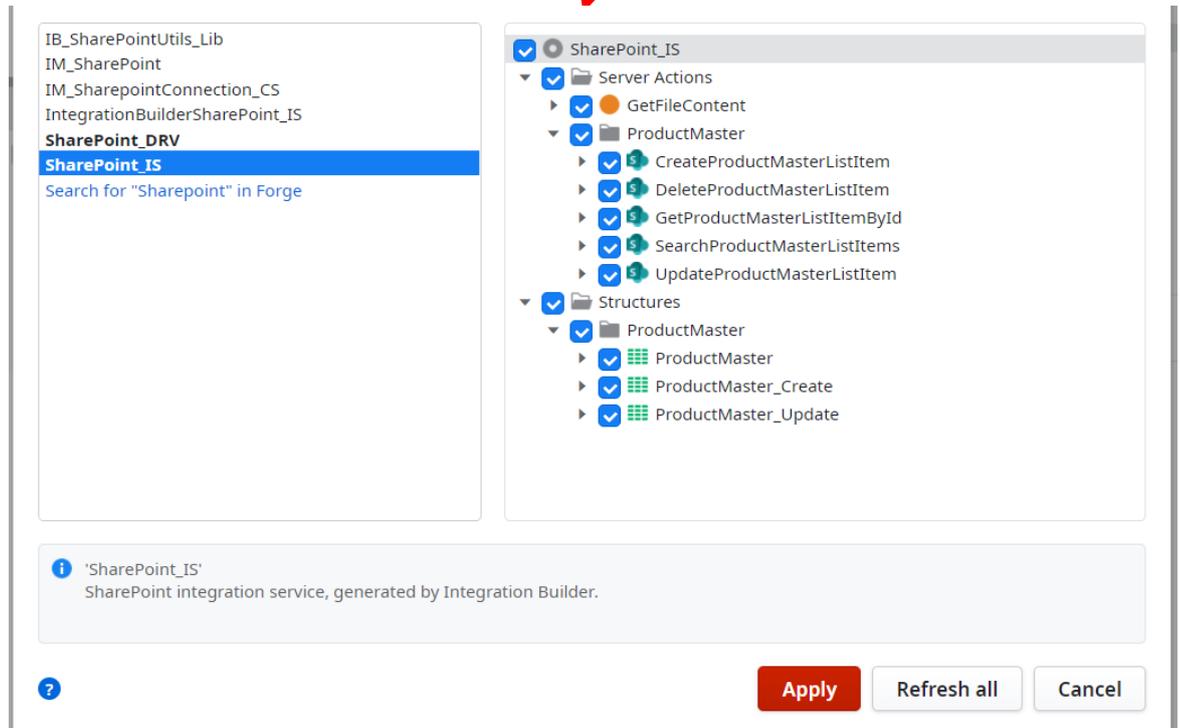
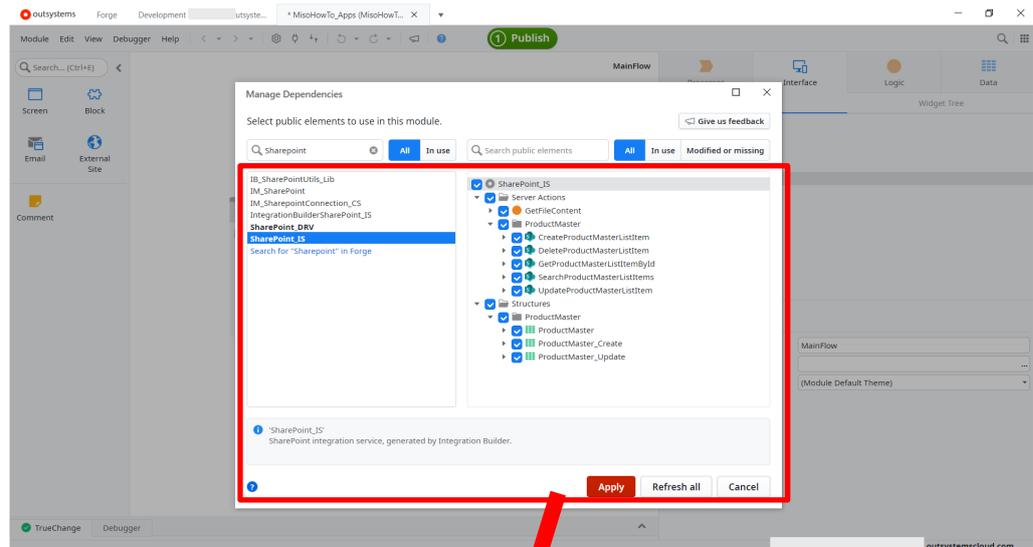


図 19 : Service Studio Manage Dependencies 連携

## 18. 連携後の Service Studio ロジックタブの確認

- Logic タブの Integration with external systems に連携した SharePoint Online List に対する下記のような Action が作成されます。
  - GetFileContent
  - CreateProductMasterListItem
  - DeleteProductMasterListItem
  - GetProductMasterListItemById
  - SearchProductMasterListItems
  - UpdateProductMasterListItem

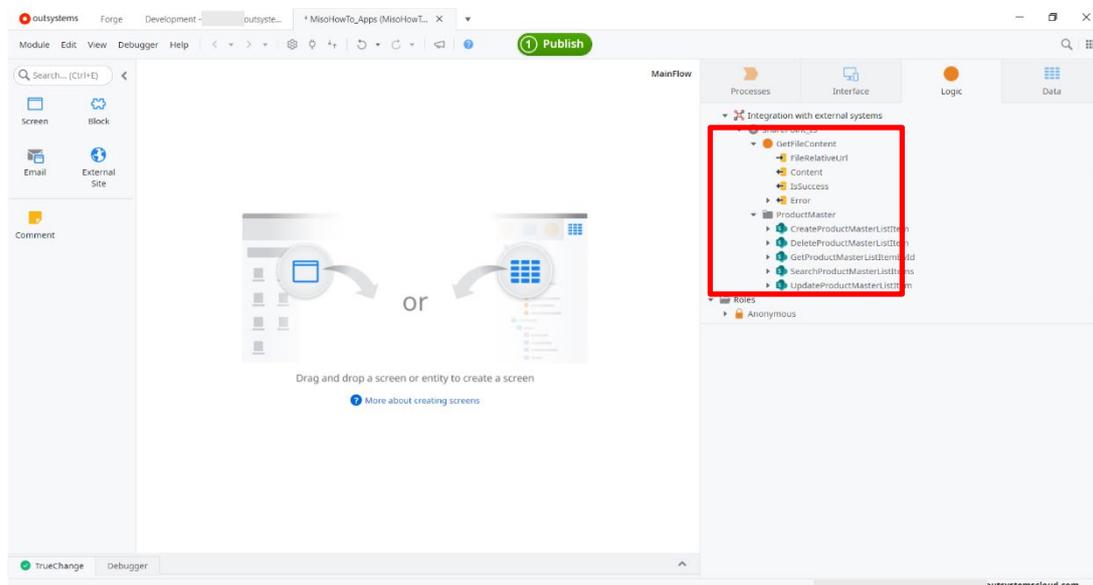


図 20 : Service Studio Logic タブ画面表示

以上で、OutSystemsとSharePoint Online List の連携は完了です。

最新の情報および詳細に関しては、以下の OutSystems 公式リンクをご参照下さい。

<https://www.OutSystems.com/low-code-platform/integration-builder/>

## 終わりに

Power Platform で作成したデータ、今回は SharePoint Online List を OutSystems で利用する方法を説明いたしました。Integration Builder を使用し接続する方法についても、Microsoft の権限のあるアカウントを準備する必要がありますが、設定はさほど難易度の高いものではありません。同じローコード製品同士でデータを、互いに利用できることがお分かりいただければ幸いです。

tdi では、OutSystems の機能や技術について十分な知識を持った多くの技術者を有しており、資格保有者数は国内トップクラスです。ローコード開発が一般的に注目される以前（2016 年）から重ねた OutSystems 開発の実績をもとに、IT 戦略コンサルティングや OutSystems 導入から運用までをトータルサポートします。また、お客様に合わせた人材育成や内製化もご支援いたします。本件を含め、何かお困りごとがございましたらどうぞお気軽にお問合せください。

### 【ローコード開発基盤「OutSystems」】

<https://www.tdi.co.jp/outsystems/>

### 【お問い合わせ】

<https://tdi.smktg.jp/public/application/add/1095>



東京: 〒163-1332 東京都新宿区西新宿六丁目 5 番 1 号 新宿アイランドタワー32 階  
03-5325-4811 (代表) FAX 03-5325-4812

中部: 〒451-6027 愛知県名古屋市西区牛島町 6 番 1 号 名古屋ルーセントタワー27 階  
TEL 052-571-6871 (代表) FAX 052-571-3856

関西: 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島二丁目 2 番 7 号 中之島セントラルタワー20 階  
TEL.06-6201-7739(代表) FAX.06-6201-7740

九州: 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号 福岡ビル S 館 7 階  
TEL.092-451-8218(代表) FAX.092-474-7379